

【情報公表】教員の養成の状況

一 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること （施行規則第 22 条の 6 第 1 号）

【教員養成の目標】

こども学科における人材育成（教員養成）の目標は、「現代社会のニーズに応えるべく、新しい教育・保育・子育て支援を創造し、子ども分野の専門的知識、技術を備え、実践力を発揮できる教員を育成する」こととしています。

この目標に基づいて、どのような時代でも変わることのない幼児教育の本質と原理をしっかりと習得し、子どもの生活に困難をもたらす家庭環境や障がいなど、さまざまな問題に対応できる能力を養い、常に子どもと共にあり、子どもとともに成長できる実践的スキルを身につけた幼児教育の専門家を養成します。

こども学科における教員養成の理念と人材育成の目的を達成するために、次の具体的な資質や能力を備えた教員を育成します。

- (1) 建学の理念と教養を理解し実践できる。
- (2) 保育・教育の本質や目的について理解し保育・教育に生かすことができる。
- (3) 子どもの心や身体について、理解し、適切な対応が期待できる。
- (4) 教育技術に関する理論を理解し、子どもに対して実践できる。
- (5) 総合学習および実習を通じて教育に関する総合的実践能力を習得し、実践できる。

【目標を達成するための計画】

これらの目標を達成するために、次の具体的な資質や能力を備えた教員を育成することとし、教育課程における授業科目との関連性を明確にしています。

教育者として求められる資質・能力	到達目標	科目（教職課程関連科目を含む）
教育者としての幅広い知識・豊かな感性・人間性の向上	(1) 建学の理念と教養を理解し実践できる	「宗教」「共生論」「法学」「社会学」「文学」「哲学」「心理学」「経済学」「生物学」「権利擁護と成年後見制度」「情報処理演習」「英語Ⅰ～Ⅵ」など
教育上の諸問題を解決するために学び続ける能力・社会的課題の理解力	(2) 保育・教育の本質や目的について理解し保育・教育に生かすことができる	「教育原理」「教育課程総論」「環境」「保育者論」「教育社会学」「教育方法論」「特別支援教育」など
	(3) 子どもの心や身体について、理解し、適切な対応が期待できる。	「発達心理学」「健康」「教育心理学」「幼児理解と教育相談（カウンセリングを含む）」「健康科学論」など
課題解決力・実践力	(4) 教育技術に関する理論を理解し、子どもに対して実践できる。	「造形」「幼児体育」「言葉」「表現（リトミック）」「身体表現」「音楽Ⅰ」「自己表現・グループ表現」「図画工作と表現」など
	(5) 総合学習および実習を通じて教育に関する総合的実践能力を習得し、実践できる。	「保育実習Ⅰ-1、Ⅰ-2、Ⅱ、Ⅲ」「教育実習」「実習指導Ⅰ・Ⅱ」「教職実践演習」「総合演習Ⅰ」「総合演習Ⅱ」など

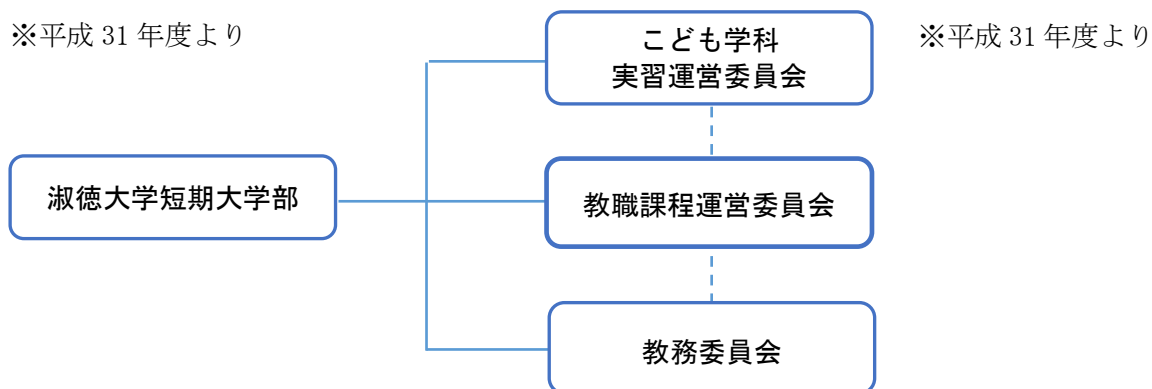
二 教員の養成に係る組織及び教員の数、各教員が有する学位及び業績並びに各教員が担当する授業科目に関すること。

(施行規則第 22 条の 6 第 2 号)

【短期大学部組織】※平成 31 年度

《学内組織》

※平成 31 年度より



こども学科会及び実習運営委員会の場において、教職指導の企画・立案・実施、教育実習等における実習先との連携・協力、教職実践演習の実施と評価などを行うと共に、教務委員会においては、学科会や実習運営委員会と連携し、教職課程の編成やカリキュラムの検証と改善等を実施しています。

【教職課程担当教員数】

幼二種免

区分	専 任			兼 担	兼 任
	教授	准教授	助教		
領域及び保育内容の指導法に関する科目	4	7	0	0	16
教育の基礎的理解に関する科目	6	9	0	0	3

【教員組織】

幼二種免

領域及び保育内容の指導法に関する科目

専任等の別	職位	教員名	学位	担当授業科目
専任	准教授	清水 将之	修士（体育科学）	健康
兼任	講師	中村 輝美	修士（社会福祉学）	環境
専任	准教授	常深 浩平	博士（教育学）	言葉
兼任	講師	橋本 千鶴	修士（教育学）	言葉
専任	准教授	田村 美由紀	博士（医学）	人間関係
兼任	講師	森 千恵子	児童学学士	表現（リトミック）
専任	准教授	山田 修平	修士（教育学）	造形、図画工作
兼任	講師	丸山 富之	修士（芸術学）	造形、図画工作
兼任	講師	中村 悠希	修士（人文科学）	身体表現
専任	准教授	中村 三緒子	修士（文学）	自己表現・グループ表現
専任	教授	前 正七生	修士（教育学）	国語
専任	教授	長谷部 比呂美	人文科学修士	国語
専任	教授	佐藤 純子	博士（人間科学）	生活
専任	教授	矢治 夕起	修士（文学）	生活
専任	准教授	諸井 サチヨ	修士（音楽）	音楽 I
専任	准教授	中西 一弘	修士（スポーツ健康科学）	幼児体育
兼任	講師	渡辺 早織	学士（音楽）	音楽 I
兼任	講師	篠塚 恭子	修士（音楽）	音楽 I
兼任	講師	大塚 広子	修士（芸術学）	音楽 I
兼任	講師	橋本 聡子	学士（芸術）	音楽 I
兼任	講師	鈴木 未和	修士（音楽）	音楽 I
兼任	講師	戸梶 江吏子	修士（音楽）	音楽 I
兼任	講師	原谷 真理子	修士（音楽）	音楽 I
兼任	講師	柴田 啓子	修士（音楽）	音楽 I
兼任	講師	鮎井 朋子	修士（音楽）	音楽 I
兼任	講師	宮崎 梨咲	修士（音楽）	音楽 I
兼任	講師	丸山 哲弘	修士（音楽）	音楽 I

幼二種免

教育の基礎的理解に関する科目

専任等の別	職位	教員名	学位	担当授業科目
専任	教授	長谷部 比呂美	人文科学修士	教育心理学、教職実践演習
専任	教授	佐藤 純子	博士（人間科学）	実習指導Ⅱ、教育実習、 教職実践演習
専任	教授	永房 典之	博士（社会学）	発達心理学、教職実践演習
専任	教授	浜野 兼一	修士（教育学）	教育方法論、実習指導Ⅱ、 教職実践演習
専任	教授	前 正七生	修士（教育学）	教育課程総論、実習指導Ⅱ、 教職実践演習
専任	教授	矢治 夕起	修士（文学）	教育原理、実習指導Ⅱ、 教職実践演習
専任	准教授	打浪 文子	博士（学術）	特別支援教育、実習指導Ⅱ、 教職実践演習
専任	准教授	小藺江 幸子	修士（児童学）	教師論、実習指導Ⅱ、 教職実践演習
専任	准教授	清水 将之	修士（体育科学）	教職実践演習
専任	准教授	田村 美由紀	博士（医学）	実習指導Ⅱ、教職実践演習
専任	准教授	常深 浩平	博士（教育学）	教育心理学、幼児理解と教育 相談（カウンセリングを含む。）
専任	准教授	中西 一弘	修士（スポーツ健康科学）	教職実践演習、
専任	准教授	中村 三緒子	修士（文学）	教育課程総論、教職実践演習
専任	准教授	諸井 サチヨ	修士（音楽）	教職実践演習
専任	准教授	山田 修平	修士（教育学）	実習指導Ⅱ、教職実践演習
兼任	講師	河野 志穂	修士（教育学）	教育社会学
兼任	講師	鈴木 香奈恵	修士（教育学）	教育課程総論
兼任	講師	橋本 千鶴	修士（教育学）	幼児理解と教育相談（カウンセ リングを含む。）

【担当教員の業績】

幼二種免

領域及び保育内容の指導法に関する科目担当教員

H31. 4. 1 現在

教員名	著書	論文	発表	その他
清水 将之	7	13	11	36
中村 輝美	6	3	10	18
常深 浩平	4	9	—	7
橋本 千鶴	2	1	2	11
田村 美由紀	3	23	—	33
森 千恵子	2	1	—	—
山田 修平	5	16	10	—
丸山 富之	4	—	—	90
中村 悠希	2	2	—	3
中村 三緒子	1	35	13	—
前 正七生	7	25	18	6
長谷部 比呂美	12	19	1	8
佐藤 純子	13	22	14	109
矢治 夕起	4	8	5	—
諸井 サチヨ	—	5	—	45
中西 一弘	2	4	—	7
渡辺 早織	—	—	—	—
篠塚 恭子	—	—	—	38
大塚 広子	—	2	—	30
橋本 聡子	5	—	—	5
鈴木 未和	—	1	—	11
戸梶 江吏子	—	2	—	1
原谷 真理子	—	1	—	31
柴田 啓子	—	—	—	27
鮎井 朋子	—	1	—	—
宮崎 梨咲	—	1	—	—
丸山 哲弘	—	1	—	17

教育の基礎的理解に関する科目担当教員

H31. 4. 1 現在

教員名	著書	論文	発表	その他
長谷部 比呂美	12	19	1	8
佐藤 純子	13	22	14	109
永房 典之	18	22	29	17
浜野 兼一	9	43	9	12
前 正七生	7	25	18	6
矢治 夕起	4	8	5	—
打浪 文子	5	24	38	20
小藺江 幸子	7	14	5	—
清水 将之	7	13	11	36
田村 美由紀	3	23	16	17
常深 浩平	4	9	—	7
中西 一弘	2	4	—	7
中村 三緒子	1	35	13	—
諸井 サチヨ	—	5	—	45
山田 修平	5	16	10	—
河野 志穂	3	23	17	—
鈴木 香奈恵	—	7	8	2
橋本 千鶴	2	1	2	11

【教員の養成に関する授業科目】

分野	施行規則に定める科目区分等		本学開講科目	単位	必修区分	授業形態	開講学年	
	科目区分	各科目に含めることが必要な事項						
免許法66条6関係科目	日本国憲法	日本国憲法	法学（日本国憲法）	2	必修	講義	1年	
		体育	体育	体育実技	1	必修	実技	1年
	外国語コミュニケーション		健康科学論	健康科学論	1	必修	講義	1年
		情報機器の操作	英語Ⅰ	英語Ⅰ	1	必修	演習	1年
	情報機器の操作		英語Ⅱ	英語Ⅱ	1	必修	演習	1年
		情報機器の操作	情報処理演習Ⅰ	情報処理演習Ⅰ	1	必修	演習	1年
情報機器の操作	情報処理演習Ⅱ		情報処理演習Ⅱ	1	必修	演習	1年	
	領域及び保育内容の指導法に関する科目	保育内容の指導法（情報機器及び機材の活用を含む。）	健康	健康	1	必修	演習	1年
環境			環境	1	必修	演習	2年	
言葉			言葉	1	必修	演習	1年	
人間関係			人間関係	1	必修	演習	1年	
表現（リトミック）			表現（リトミック）	1	必修	演習	2年	
造形			造形	1	必修	演習	1年	
身体表現			身体表現	1	必修	演習	1年	
自己表現・グループ表現		自己表現・グループ表現	1	必修	演習	1年		
領域に関する専門的事項		国語	国語	国語	1	必修	演習	1年
		算数	算数					
		生活	生活	生活	1	選択	演習	2年
		音楽	音楽	音楽と表現／音楽Ⅰ	2	必修	演習	1年
		図画工作	図画工作	図画工作と表現／図画工作	1	必修	演習	2年
	体育	体育	体育と遊び／幼児体育	1	選択	演習	2年	
教育の基礎的理解に関する科目等	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	2	必修	講義	1年	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	保育者論／教師論	2	必修	講義	2年	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育社会学	2	必修	講義	2年	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	教育心理学	1	必修	講義	1年
			発達心理学（保育の心理学）／発達心理学Ⅰ	発達心理学（保育の心理学）／発達心理学Ⅰ	2	必修	講義	1年
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育（障害児保育を含む）	2	必修	演習	1年	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程総論	1	必修	演習	1年		
	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び機材の活用を含む。）	教育方法論	2	必修	講義	1年	
		幼児理解の理論及び方法						
		教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	幼児理解と教育相談（カウンセリングを含む）	2	必修	演習	2年	

教育実践に関する科目	教育実習	実習指導Ⅱ 教育実習	1 4	必修 必修	演習 実習	2年 2年
	学校体験活動					
	教職実践演習	教職実践演習（幼）	2	必修	演習	2年

【授業科目ごとの授業の方法及び内容並びに年間の授業計画】

<https://passport-web.soc.shukutoku.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp>

四 卒業者の教員免許状の取得の状況に関すること。

(施行規則第22条の6第4号)

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
卒業生数	241人	252人	235人	235人	246人
免許状取得者数	216人	237人	223人	223人	218人

五 卒業者の教員への就職の状況に関すること。

(施行規則第22条の6第5号)

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
卒業生数	241人	252人	235人	235人	246人
教員就職者数	79人	76人	69人	76人	53人

六 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取組に関すること。 (施行規則第 22 条の 6 第 6 号)

教員養成の質的向上のために、特に以下の点での取り組みを進めています。

- ① 子どもを取り巻く環境を少しでも良くする為には、子どもに関わる人々のために、時代や社会の養成にあわせた人材養成と養成プログラムが望まれる。その為、教育・保育・子育てに必要なとされる豊かな実践力をもつ専門家の育成しうる知見とスキルの獲得に力を入れている。
具体的には、本学の「教育の質を保証する PDCA サイクル」に従い、教育課程レベルにおける学習成果の評価改善及び科目レベルにおける学習成果の評価改善を行っている。
- ② 教育実習に際しての事前事後指導については、事前指導では実習指導の担当教員による個別指導、事後指導では教員による個別指導ならびに教育実習の報告会及び反省会において、教育実習を通してその改善点や以降の学習に役立てている。
- ③ 教職を目指す学生に対する「実習指導Ⅰ（1年）」「実習指導Ⅱ（2年）」において、個別指導を実施すると共に、「教職実践演習（2年）」をゼミ指導型にし、教員－学生が互いに顔の見える2年間の継続的担当指導を実現している。
- ④ 板橋区教育委員会と連携に関する協定を締結している。